

各 位

2012年12月21日
株式会社インプレスR&D
<http://www.impressRD.jp/>

—欧州最大のスマートメーター展示会の取材をもとに新市場を分析—
『欧州スマートグリッドの最新動向 2013』を
12月28日に発行

インプレスグループで法人向け情報コミュニケーション技術関連メディア事業を手がける株式会社インプレスR&D(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井芹昌信)のシンクタンク部門であるインターネットメディア総合研究所は、欧州におけるスマートグリッドの動向を俯瞰し分析した『欧州スマートグリッドの最新動向 2013』の販売を、12月28日(木)より開始いたします。

欧州がスマートグリッドに向けてダイナミックな展開を開始しています。本書は、過日開催された「Metering Billing/CRM Europe 2012」での取材をもとに最新の欧州スマートグリッド市場を分析したレポートです。

スマートメーターの活発な導入が進む一方、すでにさまざまなスマートグリッド関連のプロジェクトが立ち上がっている欧州は、日本にとって重要な市場でありながら、関連する情報を得るのは容易ではありません。これについては、特に次の3つの問題点を指摘できます。

(1) 欧州のスマートグリッド関連の情報源(ニュースサイト等)が少なく、報道は米国寄りのものが多い。

(2) 一口に「欧州」といっても、EU加盟国だけで27カ国あり、それぞれの国で独自の取り組みが行われているため、欧州全体を俯瞰することが難しい。

(3) 欧州におけるスマートグリッドに関連する政策の整備は、それぞれの国だけではなく、EU全体で策定されるものもあるため、その背景は複雑になっており、把握するのが難しい。

本書は、重要でありながら実態をとらえにくい欧州におけるスマートグリッドの動向を俯瞰するために、上記のうち、3つの問題点を解決するために必要な情報を提供することを目的としています。さらに、2012年10月9日から11日までオランダのアムステルダムで開催された「Metering Billing/CRM Europe 2012」での取材結果を踏まえ、豊富な写真とともに、欧州を中心に活躍するスマートグリッドの重要プレイヤーの最新動向も整理しています。

本書の具体的な内容は次の通りです。

第 1 章では、欧州におけるスマートグリッドの取り組み、特にスマートメーター導入の取り組みについて、EU 加盟国にノルウェーを加えた 28 カ国の状況を整理しています。冒頭ではそのような取り組みに影響を与える EU の政策を整理し、そのうえで 28 カ国の現状を整理しています。後半では、28 カ国のうち、特に注目すべき国としてオランダとアイルランドを取り上げています。

第 2 章では、2012 年 10 月 9 日から 11 日までオランダのアムステルダムで開催された展示会「Metering Billing/CRM Europe 2012」の状況を紹介します。最新動向の考察を行っています。まず「Metering Billing/CRM Europe 2012」の概要を紹介します。その後、メータリング・バリューチェーンの考え方を示したうえで、スマートメーター、コンセントレータ、そしてソフトウェア (MDM/HEMS) という 3 つの観点から、「Metering Billing/CRM Europe 2012」での取材結果をもとに、各分野の最新動向を解説しています。

第 3 章では、スマートメーターを取り巻く標準と PLC (Power Line Communications) について取り上げています。スマートメーターを取り巻く標準化としては、主に欧州での採用が多い DLMS (Device Language Message Specification) と OSGP (Open Smart Grid Protocol) について取り上げています。その後、欧州における PLC 採用の状況と、さまざまな関連技術の状況を整理しています。

第 4 章では、これまでの内容のまとめとして、欧州におけるスマートメーター導入に関する着眼点を整理し、それを踏まえた日本における示唆を整理しています。具体的には、「今後の PLC 規格の動向」「今後の OSGP の普及動向」、そして「ユーザーにとって必要な機能を見極める」という 3 つの視点を取り上げています。

第 5 章では、「Metering Billing/CRM Europe 2012」の取材結果を、第 3 章で紹介できなかったものも含めて紹介しています。

本書から欧州におけるスマートグリッド導入から得られた教訓や、今後の日本にも影響を与えそうな最新動向についての知見を得ただけ、今後の国内外におけるビジネス拡大のヒントとして有用となる一冊です。

本書は「スマートグリッドシリーズ」第 16 弾で、これまで発売されたスマートグリッドシリーズのタイトルは、以下の通り。

- 第 1 弾:『日米欧のスマートグリッド政策と標準化動向 2010』
- 第 2 弾:『日米欧のスマートハウスと標準プロトコル 2010』
- 第 3 弾:『日米欧のスマートメーターと AMI・HEMS 最新動向 2011』
- 第 4 弾:『世界のスマートグリッド政策と標準化動向 2011』
- 第 5 弾:『グリーン半導体技術の最新動向と新ビジネス 2011』
- 第 6 弾:『スマートハウス構築のためのホームネットワーク技術 2011』
- 第 7 弾:『世界のマイクログリッドと再生可能エネルギー 2011』
- 第 8 弾:『スマートグリッド向け新プロトコル「IEEE 1888」の全容と省エネ戦略 2011』

- 第 9 弾:『スマートハウスと HEMS/BEMS/CEMS 最新技術動向 2012』
- 第 10 弾:『スマートグリッドの国際標準と最新動向 2012』
- 第 11 弾:『920MHz ZigBee IP とスマートメーター用 802.15.4g 標準 2012』
- 第 12 弾:『次世代自動車を中核にしたスマートコミュニティ最新動向 2012』
- 第 13 弾:『世界のスマートメーター/AMI とデマンドレスポンス最新動向 2012』
- 第 14 弾:『ECHONET Lite 時代を迎えたスマートハウス構築のためのホームネットワーク技術 2013』
- 第 15 弾:『スマートグリッドの核となるデマンドレスポンスの全貌 2013』

＜＜調査報告書の製品形態、および販売に関するご案内＞＞

『欧州スマートグリッドの最新動向 2013』

新井宏征、インプレス SmartGrid ニュースレター編集部 [著]

＜＜製品形態・販売価格一覧＞＞

発売日 :2012 年 12 月 28 日(木) (予約受付中)

価格 :CD(PDF)版 89,250 円(税込)
CD(PDF)+冊子版 99,750 円(税込)

判型 :A4 判

ページ数 :148 ページ

詳細、ご予約は右よりご覧ください。 → <http://r.impressrd.jp/iil/EuropeanSmartGrids2013>

弊社の調査報告書は「libura PRO(ライブラ・プロ)」からもご購入いただけます(新刊は近日登録予定)。

⇒ <https://libura-pro.com/>

※libura PRO では、誌面イメージを確認してから、ダウンロード版/CD 版/冊子版を購入していただけるだけでなく、商品の興味のある一部分(現在は章単位)だけを選んで購入したり、選んだ部分を POD(プリント・オン・デマンド)で製本してご購入いただくことができます。

インプレス R&D インターネットメディア総合研究所の調査報告書は、お客様のご利用ニーズに合わせ、簡易製本の冊子版、CD(PDF)版をご用意しております。

＜＜目次＞＞

はじめに

第 1 章 欧州におけるスマートグリッド最新動向

- 1.1 欧州におけるスマートメーター導入に影響を与えた指令
- 1.2 欧州各国におけるスマートメーター導入状況
- 1.3 主要国におけるスマートメーターとスマートグリッドの取り組み
 - 1.3.1 オランダにおけるスマートメーターとスマートグリッドの取り組み
 - [1] 2 度にわたる、スマートメーター導入に関する費用対効果分析
 - [2] 2 段階のスマートメーター導入スケジュール
 - [3] オランダ国内でのスマートメーター仕様標準化
 - [4] オランダにおけるスマートメーター関連プロジェクト
 - [5] Eneco による Toon
 - [6] Oxxio による Mijn Oxxio
 - 1.3.2 アイルランドにおけるスマートメーターとスマートグリッドの取り組み

第 2 章 Metering Billing/CRM Europe 2012 から見る欧州スマートグリッドの最新動向

- 2.1 「Metering Billing/CRM Europe 2012」概要

- 2.2 メータリング・バリューチェーンから見るスマートグリッドの着眼点
- 2.3 スマートメーター分野の最新動向
- 2.4 コンセントレータ分野の最新動向
- 2.5 ソフトウェア (MDM/HEMS) 分野の事業者動向

第3章 欧州における標準化および各種団体の動向

- 3.1 スマートメーターを取り巻く標準化—DLMSとOSGP
 - 3.1.1 DLMS/COSEM
 - 3.1.2 OSGP
- 3.2 PLCに関する業界団体の動向

第4章 欧州におけるスマートグリッドの動向と日本への示唆

- 4.1 欧州におけるスマートグリッド導入の注目点と日本への示唆
 - 4.1.1 今後のPLC規格の動向
 - 4.1.2 今後のOSGPの普及動向
- 4.2 東京電力のスマートメーターに関するEchelonの意見
 - 4.2.1 OSGPの採用を推薦
 - 4.2.2 HEMSでの通信方式に関する意見

第5章 Metering Billing/CRM Europe 2012 ハイライト

- 5.1 「Metering Billing/CRM Europe 2012」開催状況
- 5.2 「Metering Billing/CRM Europe 2012」での注目すべき企業と製品

索引

【株式会社インプレス R&D】 <http://www.impressRD.jp/>

インプレス R&D は、Web ビジネス関係者、ワイヤレスブロードバンド技術者、放送・通信融合およびデジタル家電関係者、ICT を活用するビジネスマンなど、インターネットテクノロジーを核としたあらゆる分野の革新をいち早くキャッチし、これからの産業・社会の発展を作り出す人々に向けて、クロスメディア事業を展開しています。

【インプレスグループ】 <http://impress.jp/>



株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:関本彰大、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「医療」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。2012年4月1日に創設20周年を迎えました。

【購入に関するお問い合わせ先】

株式会社インプレス R&D オンライン販売部

〒102-0075 東京都千代田区三番町 20 番地

フリーダイヤル:0120-350-995(平日 11時~12時、13時~17時) FAX:03-5213-6297

電子メール: report-sales@impress.co.jp

【内容に関するお問い合わせ先、報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社インプレス R&D インターネットメディア総合研究所 編集担当:威能

〒102-0075 東京都千代田区三番町 20 番地

TEL:03-5275-1087 FAX:03-5275-9018

電子メール: im-info@impress.co.jp、URL: <http://www.impressRD.jp/>